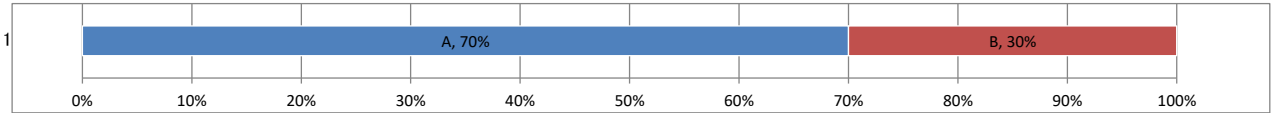


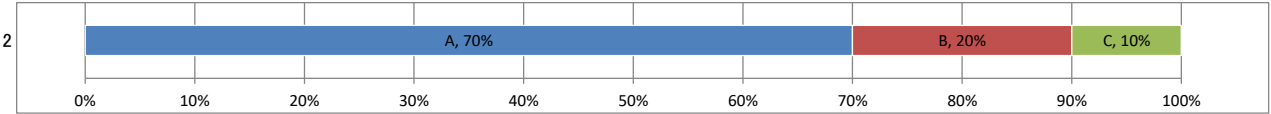
令和6年度 寄宿舎学校自己評価アンケート結果（寄宿舎保護者）

A:大いにそう思う B:だいたいそう思う C:ふつう D:あまりそう思わない E:まったくそう思わない

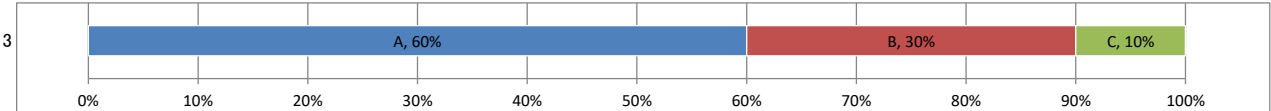
1 お子さんは、安心して寄宿舎を利用していた。



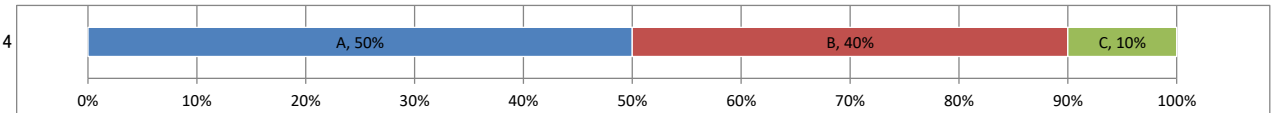
2 お子さんは、寄宿舎の生活を前向きに捉え、寄宿舎生活を送っていた。



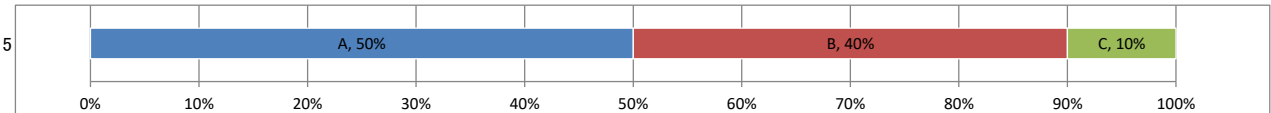
3 基本的生活習慣の習得に関する支援は、適切になされていた。



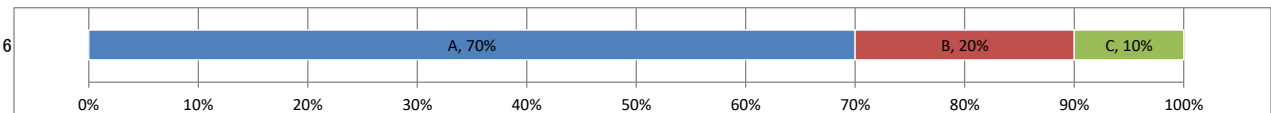
4 言語・コミュニケーションに関する支援は適切になされていた。



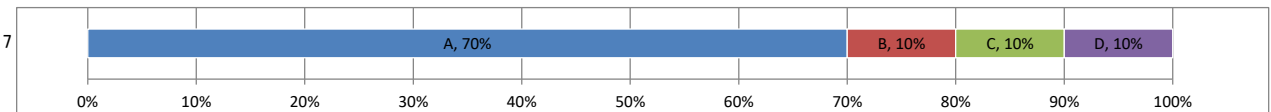
5 社会生活での自立に向けた支援は適切になされていた。



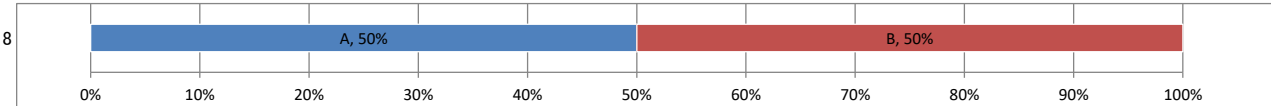
6 寄宿舎からの家庭への通知、連絡などは、お子さんの日々の姿を共有するのに役立った。



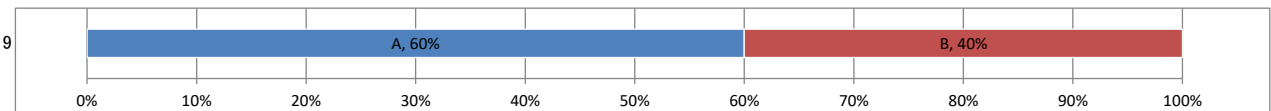
7 保護者の方が、お子さんの育ちや課題をつかむ上で、懇談や連絡のあり方は適切であった。



8 健康や安全に関する指導が適切になされていた。
・体力と運動能力の向上 ・健全で豊かな心の育ち ・地域と連携した緊急時体制の整備



9 職員は、子どもたちの成長のために、個別の支援計画を基に工夫して支援をしていた。



10 職員は子どもたちの気持ちに寄り添い、一人ひとりを大切にしていた。

